

WHAT IS e 総合型選抜

ToBeeeeeeeeee
MOTOMACHI SOZOHYOGEN SINRO-TSUSIN

“総合型選抜ってなんだ…??”



学力試験（実技含む）だけではなく、**面接や小論文・自己PRなどで受験生の個性や適性、意欲など総合的な人物評価を行う**選抜方法。

専願（一般的に第一志望の学校のみを受験すること）の大学が大半を占める。通常9月1日以降に出願受付がスタートしていき、12月上旬までに結果発表が行われることが多い。（各大学によって異なるので各自確認が必ず必要となります。）**選抜の方法が各大学で大きく異なるとともに重視しているポイントも異なるので事前のリサーチが特に重要**となる選抜方法です。

メリット

- 受験生を学力や実技力のみで判定するのではなく、**受験生自身の個性や適性など**をみて、大学に合っているのかどうかを判断してくれる → 自己アピール力や面接力が必須！
- 志望校への受験機会が増える
※注意！総合型を受けるデメリットをよく理解しておく必要があります
- 近年、各大学では総合型での定員を増加している傾向にある

デメリット

- 面接や小論文など各大学で人物評価をする材料が異なります。**一般入試とは別の対策を多くの時間を割いて行う必要**があります。→もし総合型選抜でダメだったら…というパターンもきちんと用意しておく必要があります。
- 総合型選抜において基本的にどの大学も**自分から積極的に活動や行動ができる生徒を求めています**。自発的に大学や学びたいことについて調べることや、自分自身について見つめ直して発信すること、周囲の人に協力を仰ぐことができる人でないと難しい選抜方法になります。

“ポートフォリオってなんだ…??”

これまでの自分の活動を作品集の形でまとめたもので、美術系の推薦・総合型選抜ではその人の**世界観や可能性をアピールするための資料**として使われることが多い。

まとめ方や提出の方法などは各大学によってまちまちであるが、**ただ自分の作品を羅列するようになってしまふのはNG!**ポートフォリオをみて、この人はどんな

ことを考えて制作活動をしているのだろうか？こんなに魅力的な発想ができるのか…!など大学・学校側が感じられるように**ポートフォリオ自体に自分の伝えたいことをしっかりとまとめることが重要**となります。



先輩たちのポートフォリオを一部進路スペースにて閲覧できるようにしています
チエキラ!!



体験談・インタビュー



① どうして総合型選抜での受験を決めたのですか？

- 自分の得意な分野、作品で勝負をしたかったから。
- 小論文や面接に自信があったから。
- 今までの活動や得たものを面接や自己PR用紙で直接大学側に伝えることができるから。



② 総合型選抜を受験するうえで最も苦労したことは何ですか？

- 自分と向き合うこと。どういう意図で作品を作っているのか、どんなことに興味を持っているのかを言葉にすること。
- 自分から動かないと何も進まないし、とにかくやることが多いので自分でやることを整理しないと絶対に間に合わない。
- 自分の試験にはデッサンの代わりに紙立体が必要だったので（一般試験のための）デッサンと同時進行で紙立体の対策をしなければいけなかったこと。



③ これから総合型選抜の受験を考えている後輩へアドバイスをお願いします。

- 「チャンスが増える」という考えだけでは非常に難しいです。むしろ「やることが倍に増える」という覚悟をもって挑んでほしいです！
- 不安を感じたり、迷うことがあれば家族・友達・先生などを頼る。自分の中で迷ったり、悩んだりしていたことが解決するかも。
- 総合型はリスクも伴うけど、自分の制作のこだわり、とにかく勉強ではなく「わたし」を見てほしい！という人にはもってこいだと思います。
- 自分の意思を強く持つこと！ポートフォリオは今までの自分の作品集にもなる。一生ものという想いをもって大切に制作すること。1人でやるよりも仲間とやった方がお互いに支え合えて楽しい。
- 総合型は第1志望合格のチャンスが増える分、準備など自分の負担も大きくなります。ただ、高校生活での自分の活動を活かすことができる制度なので創表で培った表現力や経験をしっかり大学にアピールしてください！！



創表 進路研究のための企画



創表「冬の進路研究会」

日時：12月26日(日) 13:00～ 場所：CG教室

1・2年生の希望者で集まり、進路についての研究会を行います。今回は主に関西圏の美術系大学についての研究会となり、卒業後の進路に関西圏を考えている人はとても参考になるのではないかと思います。

進路研究セミナー

「陶芸家 吉野瞬さん講演会」



日時：12月22日(水) 6限目 場所：デザイン教室

1・2年生は全員参加、3年生は希望者のみ参加。実際に芸術家として活動をしている先輩のお話が聞ける機会となっています。セミナー後に電動ろくろ実演も見せていただけるので楽しみにしてください。